

おじいちゃんときんぼ

高田 莉彩

おじいちゃんは、さんぼがすき。わたしもおじいちゃんといっしょにさんぼをするのが大好き。一人で歩くのはつまらないけど、おじいちゃんといろいろ話をしながら歩くのはとてもたのしい。

さんぼをしながら、学校のことをたくさん話す。虫とりのじゆぎようで、わたしだけ虫がとれなかった時。公園へ行つて、いっしょに虫をさがしてくれた。おじいちゃんはむかし、夏になるとおかあさんといっしょにセミとりに行ったんだつて。

「おじいちゃんは、虫とり名人だよ。」

とじまんで、虫がかくれている場所を教えてください。大きなバツタが三びきもとれた。じきゆう走で、三しゆうしか走れなかった時。公園のグラウンドで、いっしょに十しゆうも走つた。「くるしくても、うでをふつて。そうすれば、足もうごくから。」と、おうえんしてくれた。きろくはどんどん四しゆうにちかづいた。うんどう会のれんしゆうで、ハードルがとべなかつた時。にわのうえきにわゴムをつなげて、そのわゴムをハードルのように走つてとびこえるとつくんをした。

「ハードルの前で、立ちどまったらダメだよ。走っているスピードそのまま、足を思い切りあげて。」

と、教えてくれた。はじめはこわくて、ハードルの前へくると足ぶみしてしまつたけど、なん回もれんしゆうしたら、だんだんスピードが出てきた。本ぼんでは、いきおいよくハードルをとぶことができた。おじいちゃんは、わたしがさんぼで話したことをおぼえていて、こまつた時はいつもたすけてくれるんだ。いつもニコニコしていて、とてもやさしいおじいちゃん。おかあさんにおこられた時も、わたしはおじいちゃんときんぼへ行く。

「あまやかさないですよ。」

とおかあさんに言われても、おじいちゃんはあまり気にしてないみたい。おじいちゃんはなにも言わないけど、そつとほえんでくれる。そのかおを見ると、なんだかこころがおちついて、おかあさんの言うことを聞くかたという気もちになる。どんな時も、わたしのみかたでいてくれるから、とてもこころよくて、すなおになれる。おじいちゃんときんぼをする時、いやなことわすれて、いつのまにか元気になっているから、ふしぎだな。

おじいちゃん、いつもわたしの話を聞いてくれて、ありがとう。またいっしょに、さんぼに行こうね。